

バイオフィールド・セラピーのスコーピングレビューについて

－エビデンスマップの紹介－

田中 英明¹

バイオフィールド・セラピーに関するスコーピングレビューが、米国の統合医療に関する学術雑誌に掲載された¹⁾。スコーピングレビューとは、特定の分野における研究エビデンスの内容や規模を明らかにすることを目的とした文献調査レビューである。

本論文では、バイオフィールド・セラピーに関する臨床研究にはどのようなものが存在し、これまでに何が明らかになってきたのか、また、どのような課題が残されているのかを整理・提示している。

著者らによれば、米国においてバイオフィールド・セラピーへの関心は徐々に高まりつつあり、とくに退役軍人を対象とする医療機関などで、治療の選択肢として導入される例が増加しているという。一方で、これらの療法を既存の医療体制に統合するには多くの課題が存在しており、その一つとして、エビデンス構築に必要な研究報告における記述の一貫性が欠けている点が指摘されている。

今回の研究の目的の一つとして、エビデンスマップ (www.biofieldscience.org) の構築が挙げられており、これはSubtle Energy Funders Collectiveの支援により実現したものである。Subtle Energy Funders Collectiveは、バイオフィールド・セラピーをはじめとする生体場やヒーリングを科学的に検証し、その理解を深めることを目的とする共同グループである²⁾。同団体は、エビデンスに基づくバイオフィールド・セ

ラピーを医療制度へ導入するとともに、個人の健康管理や社会文化として普及させるための媒介者としての役割を担っている。今回のレビュー論文は、このグループに所属する研究者らによって執筆され、その内容を基にエビデンスマップが作成された。

オンライン上のエビデンスマップでは、各種バイオフィールド・セラピーが療法ごとに分類され、それぞれの疾患に対する有効性が、研究結果に基づいて示されている。検索機能においては、療法の種類、疾患の種類、研究デザイン、有効性の有無、研究実施時期、出版年、研究実施国、性別、年齢層など、さまざまな条件での絞り込みが可能となっている。

このエビデンスマップは、2024年1月までに出版された352件の研究論文をもとに構築されており、分類されたバイオフィールド・セラピーは22種類であった。その中で最も多く研究対象となっていたのはレイキであり、88件の研究が確認された。次いで多かったのはセラピューティック・タッチに関する研究で、71件が報告されていた。岡田式浄化療法に関する研究は6件（表1参照）、Johrei（浄霊）に関する研究も同様に6件が掲載されている（表2参照）。

本レビューでは、バイオフィールド・セラピーに関する臨床研究のうち、英文で発表されたもの限定して取り上げており、観察研究や症例報告などについては、著者らの判断によりスクリーニングの段階で多くが除外されている。近年、バイオフィールド・セラピーの臨床研究を報告する際のガイドライン³⁾ が出版されたことに続き、バイオフィールド・セラピーのエビデンス構築に向けた取り組みが少しずつ増えてきていることが示唆される。

¹一般財団法人MOA健康科学センター

〒108-0074 東京都港区高輪4-8-10 東京療院本館2F
連絡先：

田中英明. TEL: 03-5421-7030, FAX: 03-6450-2430,
E-mail: tanaka@mhs.or.jp

受付日：2025年5月29日，受理日：2025年7月13日.

[参考文献]

- 1) Sprengel, M. L., Teo, L., Allen, S., et al. Biofield Therapies Clinical Research Landscape: A Scoping Review and Interactive Evidence Map. *Journal of Integrative and Complementary Medicine*. 2025. doi: 10.1089/jicm.2024.0773.
- 2) Biofield Research Fellowship Program. The Subtle Energy Funders Collective. <https://biofieldfellowship.org/the-subtle-energy-funders-collective/>, (accessed 2025-5-23).
- 3) Hammerschlag, R., Sprengel, M., Baldwin, A. L. Biofield therapies: Guidelines for reporting clinical trials. *Global Advances in Integrative Medicine and Health*. 13, 2024. doi: 10.1177/27536130231202501.

表1 エビデンスマップに登録された岡田式浄化療法に関する研究

no.	研究タイトル	著者	出版年
1	Effects of Untouched healing under suggestive or non-suggestive condition on autonomic nervous function	Kuramoto Iら	1997
2	Effect of Okada purifying therapy on brain activity, autonomic nervous system and emotion	Uchidaら	2006
3	Effects of biofield therapy in the human brain	Uchidaら	2012
4	Effectiveness of biofield therapy for individuals with sickle cell disease in Africa	Minga TMら	2014
5	The influence of a multimodal health program with Diet, art, and Biofield therapy on the Quality of Life of People in Japan	Suzukiら	2019
6	Okada purifying therapy in combination with duloxetine vs. duloxetine alone in patients with TMD and fibromyalgia: A randomized clinical study	Bruti Gら	2020

表2 エビデンスマップに登録された浄霊に関する研究

no.	研究タイトル	著者	出版年
1	The effect of Johrei healing on substance abuse recovery: A pilot study	Brooksら	2006
2	Johrei family healing: a pilot study	Canterら	2006
3	The Influence of 10 min of the Johrei healing method on laboratory stress	Laidlawら	2006
4	Clinical trial: The effect of Johrei on symptoms of patients with functional chest pain	Gasiorowskaら	2009
5	Effect of johrei therapy on sleep in a murine model	Buzzettiら	2017
6	Beneficial Effects of Receiving Johrei on General Health or Hypothermia Tendency	Yamamotoら	2022